

第1号議案 2025年度事業報告及び収支報告

一般社団法人 日本養豚協会 2025年度事業報告

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

I 活動状況

A. 通常総会

6月23日（月） 2025年度通常総会開催 東京都千代田区 砂防会館

【議案】

第1号議案 2024年度事業報告及び収支決算報告に関する件

第2号議案 2025年度事業計画及び収支予算に関する件

第3号議案 2025年度会費の徴収に関する件

B. 理事会

第1回理事会 5月29日（木） 東京都千代田区 連合会館会議室

【報告事項】

（1）養豚農業基本方針等の公表

（2）各部会等からの報告

（3）その他

【協議事項】

（1）2025年度通常総会の進行等について

（2）2025年度総会提出議案

① 2024年度事業報告及び収支決算報告に関する件

② 2025年度事業計画及び収支予算に関する件

③ 2025年度会費徴収に関する件

（3）その他

① 今後の予定

② その他

第2回理事会 6月23日（月） 東京都千代田区 砂防会館

【報告事項】

（1）2025年度総会提出議案

① 2024年度収支報告及び事業報告

- ②2025年度収支予算及び事業計画
- ③2025年度会費徴収に関する件
- (2) 2025年度総会の進行について
- (3) その他
 - ①養豚大学校運営委員会からの報告
(2025年度大学校の募集及び運営委員会の体制)
 - ②飼料用米利用に関する緊急調査結果
 - ③今後の予定
 - ④その他

【協議事項】

- (1) 2025年度会費の納入について
- (2) その他

第3回理事会 8月7日(木) 東京都千代田区 連合会館会議室

【報告事項】

- (1) 2025年度4～6月期事業報告及び収支報告
- (2) その他

【協議事項】

- (1) 次年度予算編成に向けた要請(政策提言)案
- (2) 2025年度部会活動計画
- (3) その他

第4回理事会 11月10日(月) 福岡市 福岡コンベンションセンター

【報告事項】

- (1) 2025年度4～9月期事業報告及び収支報告
- (2) 政府所有外国産米穀(MA米)の特別販売要領の運用ほか
- (3) その他

【協議事項】

- (1) 次年度に向けた要請(政策提言)案
- (2) その他

第5回理事会 3月5日(木) 東京都千代田区 東京都千代田区会議室

【報告事項】

- (1) 2025年度4～12月期事業報告及び収支報告

- (2) 令和8年度に向けた養豚農業の振興に係る提案（要請）
- (3) 役員改選について
- (4) その他

【協議事項】

- (1) 次年度に向けた活動計画案
- (2) その他

C. 監査

5月20日（火） 2監事による監査を実施

D. 部会等

① 総務企画部会

- 第1回総務企画部会 5月8日（木） JPPA会議室
- 第2回総務企画部会 7月17日（木） JPPA会議室
- 第3回総務企画部会 10月23日（木） JPPA会議室
- 第4回総務企画部会 2月5日（木） JPPA会議室

② 生産・経営部会

第1回生産・経営部会 6月24日（火） JPPA会議室

- ・ 養豚農業実態調査について（スケジュール、調査票修正、改善事項など）
- ・ 優良事例調査について（エントリーシート内容修正、スケジュール確認など）
- ・ 暫定排水基準値の延長（報告）
- ・ 他団体への部会協力（報告）
- ・ 精液BCPアンケートについて
- ・ 標準飼料成分表の問題点について（日本飼料工業会から説明）

第2回生産・経営部会 11月5日（水） JPPA会議室

- ・ 優良事例調査について（エントリー確認、調査票改善事項等）
- ・ 養豚農業実態調査について（進捗等）
- ・ 優良事例農場選定
- ・ 優良事例調査の今後の進め方について
- ・ 豚農業実態調査に関する佐々木羊介准教授（明治大学）との研究協力について

第3回生産・経営部会 2月25日（水） JPPA会議室

実態調査報告書のコメント及び優良事例報告書の検討、佐々木准教授との研究協力、新規ALIC事業（飼養管理技術向上実証等支援）

第4回生産・経営部会 3月6日（金）JPPA会議室

- ・優良事例調査について（報告）
- ・養豚農業実態調査について（報告書進捗等）
- ・令和8年度養豚経営安定対策補完事業のうち「生産性向上支援（拡充）」の実施について

<<優良事例調査>>

10月末にJASVより4件の応募があり、第2回検討会で優良事例農場を選出。
今年度の優良事例は、福井県の有限会社睦美ファームに決定した。
12月に現地調査を実施し、報告書を作成。

<<養豚農業実態調査>>

9月29日に調査票を発送。
有効回答は498件（紙調査票287件、WEB147件、Excel64件）。
3月下旬に優良事例報告書・実態調査報告書ダイジェスト版を回答者・関係団体等に送付。ウェブページに詳細版ほか2025年度の資料を掲載。

【経営安定チーム】

第1回経営安定チーム 4月7日（月） WEB

農林水産省からの説明(労働費の算定方法改善)と意見交換、25年度の活動計画

第2回経営安定チーム 6月3日（火） WEB

豚マルキン制度について

農水省企画課及び統計部と意見交換について

第3回経営安定チーム 9月3日（木） WEB

農林水産省 企画課及び統計部との意見交換

③ 流通・消費部会

第1回流通・消費部会 9月17日（水）WEB

・豚肉流通に関する勉強会（講師：岩田 寛史）

その他、と畜場をめぐる状況等について情報の収集

④ 衛生・疾病対策部会

第1回衛生・疾病対策部会 4月30日（水）農林水産省

豚熱清浄化準備協議会

第2回衛生・疾病対策部会 6月24日（火）WEB

今年度の衛生・疾病対策部会の方針について

豚熱対策に係る今後のJPPAの活動について

第3回衛生・疾病対策部会 9月10日（水）農林水産省

豚熱清浄化準備協議会及びイノシン対策について

第4回衛生・疾病対策部会 1月13日（火）農林水産省

豚熱清浄化準備協議会

<<麻布大学 野口准教授への研究支援>>

2024年度に支援を行った麻布大学野口倫子准教授の研究について、第12回神奈川県獣医師会学術集会での発表が優秀発表賞を受賞。9月の関東・東京地区合同の獣医師会学術集会にて神奈川県推薦演題として発表。

<<豚熱清浄化準備協議会の開催>>

第1回豚熱清浄化準備協議会協議会 4月30日 農林水産省会議室

・議題1 今後の農水省の豚熱対策の方向性について

・議題2 農場における豚熱発生について

※2024年以降、協議会において①豚熱清浄化に向けたロードマップの策定、②殺処分範囲の検討等について意見交換。農林水産省は、殺処分範囲等について技術的検討を開始したほか、6月末に豚熱清浄化ロードマップを公表。

第2回豚熱清浄化準備協議会 9月10日 農林水産省会議室

・議題1 豚熱清浄化準備協議会の今後について

(1) 殺処分範囲の見直しの進捗状況について

(2) 豚熱ワクチンの適時適正な接種について

・議題2 イノシシ対策について

第3回豚熱清浄化準備協議会 1月13日 農林水産省会議室

・議題1 家畜伝染病予防法の改正について

・議題2 選択的殺処分について

・その他 (ASF 対策、イノシシ対策等)

第4回豚熱清浄化準備協議会 3月16日(月) 農林水産省会議室

・議題 家畜伝染病予防法の改正等について

選択的殺処分への移行に関する意見交換

<<家畜伝染病予防法の改正>>

豚熱に係る選択的殺処分の実施や豚熱ワクチン接種者の確保等、輸入禁止品への対応強化等を内容とする「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案」が、3月24日に閣議決定され、内閣から国会へ提出された。

<<空港防疫キャンペーン>>

8月5日 成田空港：ナイスポークチバ推進協議会と協力

2月13日 羽田空港：同上

ほか

<<AW推進委員会／衛生・疾病対策部会合同セミナー>>

「アニマルウェルフェアと飼養衛生管理」開催 (2月3日)

⑤ 育種改良・登記登録部会

【打ち合わせ等】

- ・ 5月27日(火) 豚の登録システムPIG-PINSと他社とのシステム互換性機能開発検討会(JPPA会議室)
- ・ 6月11日(水) 令和7年度 国産純粋種豚遺伝子検査の推進打ち合わせ(JPPA会議室)
- ・ 7月3日(木)・4日(金) 令和7年度 豚の新育種技術会議(茨城県つくば市)
- ・ 7月14日(月) 令和7年度第1回育種改良・登記登録部会(JPPA会議室)

- ・ 8月1日(金) 令和7年度宮崎県指定種豚場協会総会・研修会(宮崎県宮崎市)
- ・ 2月12日(木) 第2回育種改良・登記登録部会並びに国産純粋種豚改良協議会
ロードマップ策定打合せ(JPPA会議室)

【種豚登録講習会】

- ・ 7月25日(金) 令和7年度 東日本地区種豚登録講習会(宮城県仙台市)
- ・ 7月28日(月) 令和7年度 埼玉県熊谷農業高等学校 種豚登録講習会
- ・ 2月17日(火)・18日(水) 令和7年度 西日本地区種豚登録講習会
(愛知県名古屋市及び豊橋市)
- ・ 3月11日(水) 令和7年度 北海道地区種豚登録講習会(北海道札幌市)

【国産純粋種豚改良協議会(事務局)】

- ・ 5月15日(木) 令和7年度 第1回 国産純粋種豚改良協議会 ワーキング
グループ(東京都台東区)
- ・ 10月17日(金) 令和7年度 第2回 国産純粋種豚改良協議会 ワーキング
グループ(東京都千代田区)
- ・ 12月25日(木) 国産純粋種豚改良協議会 令和7年度通常総会・研修会
(京都府京都市)

⑥ 青年部会

第1回青年部会 4月18日(金) 大崎ブライトコアホール

第2回青年部会 5月21日(水) WEB

- ・ 農林水産省との意見交換会について
- ・ 俺たちの豚肉を食ってくれ！実施計画について

第3回青年部会 7月14日(月) 農林水産省

第4回青年部会 9月4日(木) WEB

- ・ JPPA青年部と農林水産省との意見交換会（7月14日開催）報告
- ・ Japan Pork Festival 俺たちの豚肉を食ってくれ！2025 に関する件
- ・ 今後の青年部会日程

第5回青年部会 10月14日(火) WEB

<<青年部セミナー>>

4月18日（金）・19日（土） 大崎ブライトコアホール

＊「養豚経営の多様性」をテーマに2日間にわたるセミナーを開催し、多様な講師による講演と養豚生産者講師によるパネルディスカッションを行った。またセミナー会場の一角には、賛助会員20社による出展コーナーを設置し来場者へPRの場を提供した。2日間で述べ300名が参加した。

<<青年部と農林水産省との意見交換会>>

7月14日（月）農林水産省別館B1 共用第5会議室

＊農林水産省で意見交換会を開催

JPPA35名、農林水産省39名が参加し、以下について意見交換

- ① 国内由来飼料(飼料用米やエコフィード)の利活用に関する課題と展望
- ② 家畜排せつ物の利用と処理における課題と展望
- ③ 日本産豚肉の消費拡大に向けた展望と流通の合理化における課題等
- ④ 養豚産業向け補助事業の利活用における課題等
- ⑤ 豚熱等疾病対策に関する最新状況と今後の課題等

<<Japan Pork Festival 俺たちの豚肉を食ってくれ！>>

11月29日(土) ベルサール秋葉原1Fホール&イベントスペース

昨年に引き続き、通算第19回目となるJPPA青年部会の日本産豚肉PRコンテンツ「俺たちの豚肉を食ってくれ！」を国際化にあわせたインバウンド対応型イベントとして開催した。会場運営スタッフとして全国各地から集まった青年部会をはじめとする養豚生産者及び関係者ら180名以上が参加。日本豚ロゴマーク入りのユニフォームTシャツを着用し、しゃぶしゃぶや豚肉加工品等の試食提供を通じて日本産豚肉をアピールした。

⑦ アニマルウェルフェア推進委員会

第1回アニマルウェルフェア推進委員会 6月13日（金）

TKP東京カンファレンスセンター

議題1 今年度の事業について

議題2 農林水産省による令和6年度「AW指針」の取組状況に係る調査の結果について

議題3 明治大学 佐々木羊介准教授の研究協力について

第2回アニマルウェルフェア推進委員会 11月26日（水）

議題1 今年度の事業について

議題2 明治大学 佐々木羊介准教授の研究協力について

議題3 農林水産省「AW指針」調査に基づく各事項の達成目標年の設定について

第3回アニマルウェルフェア推進委員会 2月3日（火）

JPPA アニマルウェルフェア推進委員会／衛生・疾病対策部会 2月3日（火）

合同セミナー「アニマルウェルフェアと飼養衛生管理」

WEB参加：70名、現地参加者（委員等含）35名

畜産技術協会・AW達成目標年の設定に係る検討会（豚・鶏） 2月27日（金）

石川委員長が出席

普及素材として作成した動画をYouTubeに掲載 3月

活動報告書を会員・賛助会員・関係団体に配布 3月

⑧ 消費拡大等事業検討プロジェクトチーム（PT）

1. 目的

国産豚肉の消費拡大、養豚生産を担う人材の育成・教育及び生産性や経営の向上のための調査・研究等（以下、消費拡大等事業という）は、広く我が国養豚生産者及び養豚業界に裨益する事業である。JPPAでは自らの予算により「俺たちの豚肉を食ってくれ」や「青年部セミナー」をはじめ各種の消費拡大等事業を進めてきたが、これらの活動がより効果をあげるために必要な事業内容等をあらためて検討し、将来に向けた在り方を整理する。この際、検討の対象はJPPA予算及び／又は任意の拠出金により実施される消費拡大等事業とする。

2. 検討事項

- （1）JPPA予算及び／又は任意の拠出金を用いて実施する消費拡大等事業の内容及び効果
- （2）海外等における消費拡大等事業の状況及び課題
- （3）その他

- 第1回 PT 9月30日(月) WEB
- 第2回 PT 11月26日(水) WEB
- 第3回 PT 1月21日(水) WEB & JPPA 会議室
- 第4回 PT 3月19日(木) WEB & JPPA 会議室

⑨ ブロック会議等

月 日	行 事 名	場 所
10月 1日	九州・沖縄ブロック会議	熊本県熊本市
10月29日	関東養豚協議会	東京都渋谷区
11月13日	北海道・東北ブロック会議	秋田県秋田市
11月20日	北陸・東海・近畿ブロック会議	富山県富山市
11月28日	中国・四国ブロック会議	徳島県徳島市
3月10日	関東養豚協議会	茨城県土浦市

⑩ その他の会議

- ・ 9月22日(月) 令和7年度 豚の登録業務委託団体長会議(東京都台東区)
- ・ 10月22日(水) 道府県組織代表者及び事務局長会議

⑪ MA 米買い付け事業

期	数量 t	買い受実績の あった員数	単価 円/Kg	事業費 千円 (税、手数料含まず)
2025第1期	7,203	23	35.7	257,147
第2期	5,125	23	35.7	182,962
第3期	5,305	22	34.0	180,370
第4期	10,243	22	34.2	350,310
計	27,876		34.8	970,789

<<ミニマムアクセス (MA) 米の販売数量の拡大>>

JPPAからの実態説明を受け、農林水産省は「国産飼料用米の利用促進のための政府所有外国産米穀の特別販売要領の運用について(9月1日付農林水産省農産局長通知)」を発出し、令和7年度及び令和8年度においては、年間販売限度数量について、令和6年度の国産米の飼料用への使用実績数量または国産飼料用米の年間予定使用契約数量のいずれかの3倍とすることとなった。(従来は前年度の2倍)

⑫ その他の活動について

1. 日本養豚大学校 初級コース第10期（2025年度）修了生36名

第1 スクール 9月9日～11日（9日開講式）

第2 スクール 11月26日～28日

第3 スクール 2月18日～20日（20日修了式）

2. 農林水産省「家畜衛生ポスターデザインコンテスト」

農林水産省は、広く国民の間に家畜の病気やその対策への理解が深まるきっかけとなることを期待して、昨年に引き続き「家畜衛生ポスターデザインコンテスト」を実施。本年度のテーマは「豚熱をひろげないためにできること」。審査の結果、1月7日に授賞式が行われ、特別賞として日本養豚協会会長賞を授与。

3. 養豚に関する日中意見交換会（6月12日）

中国で養豚を行っている楊翔グループの高副総裁とJPPA役員他が、中国におけるビル養豚の現状と今後について意見を交換した

4. 飼料用米利用に関する緊急調査（5月12～26日）

Ⅱ 業務に関する事業

1. 改良に関する事項

(1) 登録審議・委員会 2025 年 7 月 4 日 (金) 文部科学省研究交流センター第 2 会議室

2. 種豚の登録事業 (2025.4.1～2026.3.31)

区 分	件 数	区 分	件 数
(1) 登録事業		7) 一代雑種血統証明	1,176 頭
1) 種豚登録	5,053 頭	8) 海外合成豚証明	
2) 産肉検定	20 頭	合成豚認定	2 銘柄
3) 産子検定	1 頭	合成豚種豚場指定	2 場
4) 子豚登記	11,205 頭	合成豚血統証明	0 頭
(2) 証明事業		合成豚移動証明	0 頭
1) 血統登記	8 頭	9) 国内合成豚証	
2) 証明書書換	13 頭	合成豚血統証明	17 頭
3) 証明書再交付	7 頭	合成豚移動証明	0 頭
4) 移動証明	489 頭	10) 肉豚証明	1,783 頭
5) 血統能力証明		11) 輸入精液証明	68 本
子豚・種豚	0 頭	(3) 認定事業	
一代雑種・海外合成豚	0 頭	1) 遺伝資源保存指定種豚場認定	36 場
6) 系統証明		2) 育種利用・防疫推進指定種豚場認定	6 場
系統認定	21 系統	3) 黒豚生産農場指定	8 場
系統維持施設指定	22 施設		
系統種豚証明	149 頭		

※予備登記 390 頭 予備登録 298 頭

3. 共進会に対する褒賞

県数 11 県 共進会の数 11 件 褒賞点数 13 点

4. 情報提供及び情報公開

- (1) 種豚情報総合システム (P I N S) の運営、改良情報等の提供
- (2) 会員機関誌 J P P A 通信を随時発行
- (3) ホームページへの事業計画及び事業報告の掲載等
- (4) 月刊誌 3 誌へ JPPA 活動報告を 4 半期ごとに掲載

Ⅲ 補助事業・委託事業等の実施

(1) 農林水産省：

- ①畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進のうち豚）の実施（遺伝子検査の推進、産肉能力の改良推進、産肉能力データ測定機器の導入）
- ②持続的生産強化対策事業推進費補助金（アニマルウェルフェア配慮型飼養管理推進事業）の実施

(2) (独) 農畜産業振興機構：

養豚経営安定対策補完事業（種豚・精液導入、飼養管理技術向上支援のための研修・講習会開催、養豚農業実態調査、優良事例調査等）の実施
地域肉豚能力向上支援事業(種豚・精液導入 2025 年度実績)
純粋種豚生体 161 頭、純粋種精液 319 ドーズ、F1 665 頭

(3) (一社) 日本畜産物輸出促進協会：

品目団体輸出力強化緊急支援事業（豚肉輸出促進関連業務）の実施

- ①シンガポール：バイヤー向け試食会、レストランフェア 6 店舗（11 月）
- ②香港：バイヤー向け試食会、レストランフェア 3 店舗（12 月）
- ③タイ：レストランフェア 4 店舗（12 月）
- ④インバウンド向け日本産豚肉試食イベント「Japan Pork Festival」(11 月秋葉原)
- ⑤マカオ：現地マーケット調査の実施(1 月)
- ⑥「日本豚ロゴマーク」国際商標の更新管理

(4) (公財) 全国競馬・畜産振興会事業：

豚の飼料利用性育種推進事業の実施（2025 年～2027 年）

12 月 2 日 中間報告会

2 月 18 日 事業推進会議

豚の飼料摂取量の大規模データ収集、遺伝的特性調査、腸内細菌叢との関連性調査を実施

Ⅳ 協議会事務局等の運営

(1) 国産純粋種豚改良協議会事務局

平成28年3月31日に設立された「国産純粋種豚改良協議会」の事務局を引き受け、産官民一体となって実施する国産純粋種豚の改良に参画

(2)(一社) 日本畜産物輸出促進協会

豚肉輸出協議会事務局を引き受け、産官民一体となって豚肉の輸出促進に取り組む

V 委員の受託・推薦等

(1) 農林水産省

・スマート農業イノベーション推進会議委員 石淵 大和

(2) 公益社団法人中央畜産会

・地域養豚生産衛生向上対策支援事業推進委員 鋤柄 卓夫

・畜産経営高度化指導推進事業検討委員 鋤柄 卓夫

・畜産に関わる仕事の理解推進委員会委員 鋤柄 卓夫

(3) 一般財団法人畜産環境整備機構

・凝集促進剤を含む固形分の堆肥化技術開発普及事業委員 松村 昌雄

・高濃度畜産臭気脱臭技術開発普及事業委員 窪田 陽平

・污水浄化施設最適管理支援技術実証普及事業委員 山本 孝徳

(4) 公益社団法人畜産技術協会

・AW専門的課題協議会 畜種別専門委員会 石川 輝芳

・畜産におけるアニマルウェルフェアの普及推進豚検討会検討委員
塩田 佐和子

(5) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

・日本飼養標準・豚部会 細谷 広平

○ 要請活動等

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

日付	内容	活動及び要請先	活動対応者
4 月 4 日	自民党養豚議連役員 ご挨拶、意見交換及 び JPPA 青年部と豚 政懇話会の交流会出 席依頼	森山会長、坂本副会 長、葉梨幹事長、井野 事務局長、上月農林 部会長、築畜産・酪農 対策委員長	香川会長、石川代行、 塩澤アドバイザー、 鋤柄専務、遠藤主任 計 5 名
4 月 18 日	農水省消費・安全局 意見交換	安岡局長、郷審議官	香川会長、鋤柄専務
4 月 18 日	JPPA 青年部と豚青 懇話会 交流会	神田事務局次長ほか	香川会長、山口副会 長、鋤柄専務、青年部
4 月 24 日	農林水産省新事業・ 食品産業部、畜産局 意見交換	戎井卸売市場室長、 上田食肉需給対策室 長、金沢飼料課長、蓼 沼流通飼料対策室長 ほか	香川会長、山本筆頭 副会長、竹延副会長、 鋤柄専務、海老原係 長
5 月 28～30 日	JPPA 総会開催ご挨 拶及びご出席依頼	森山会長、坂本副会 長、葉梨幹事長、井野 事務局長、神田事務 局次長ほか議連役員 及び関村審議官、松 本省畜産局長	香川会長、石川代行、 山本筆頭、鋤柄専務、 遠藤主任 計 5 名
6 月 24～25 日	JPPA 総会・懇親会臨 席お礼ご挨拶	葉梨幹事長、神田事 務局次長ほか	香川会長、石川代行、 山本筆頭、鋤柄専務、 遠藤主任 計 5 名
7 月 1 日	沖縄の養豚事情をめ ぐる意見交換会	葉梨幹事長、島尻顧 問、西銘自民党幹事 長代理	山本筆頭副会長、中 村理事、鋤柄専務、遠 藤主任 ほか沖縄県 生産者及び関係団体 計 18 名

日付	内容	活動及び要請先	活動対応者
8月6日～7日	意見交換	養豚議連役員	香川会長、石川会長 代行、山本筆頭副会 長、鋤柄専務理事、遠 藤主任 計5名
8月22日	令和8年度農林関係 予算について	養豚議連役員	鋤柄専務理事、遠藤 主任 計2名
8月27日	令和8年度農林関係 予算について	自民党「総合農林政 策調査会・農林部 会・農政推進協議会 合同会議」	香川会長、山本筆頭 副会長、鋤柄専務理 事、遠藤主任 計4 名
9月1日	令和8年度農林関係 予算について	小泉農林水産大臣、 渡邊次官、宮浦官房 長、山口農産局長、 山口農産政策部長、 長井畜産局長	香川会長、石川会長 代行、山本筆頭副会 長、鋤柄専務理事、遠 藤主任 計5名
9月25日	国産飼料の生産・利 用について	築和生畜酪委員長、 上月良祐農林部会 長、葉梨康弘養豚議 連幹事長他	鋤柄専務理事、海老 原係長、遠藤主任 計3名
9月30日	国産飼料の生産・利 用の拡大に関するヒ アリング	自民党畜産・酪農対 策委員会	鋤柄専務理事、海老 原係長、遠藤主任 計3名
10月30日	鈴木憲和農林水産大 臣表敬訪問 養豚議連役員意見交 換	鈴木農水大臣 福山守先生、上月良 祐先生	香川会長、鋤柄専務 理事、畜産ネットワーク 遠藤主任
12月4日 12月5日	鈴木憲和農林水産大 臣表敬訪問及び要請 畜産・酪農対策委員 会要請及び養豚議連 役員挨拶	鈴木農水大臣 宮下一郎先生、築和 生先生、野中厚先生 他	香川会長、石川会長 代行、上野理事、阿部 山形県養豚協会長、 海老原係長、遠藤主 任 計6名

日付	内容	活動及び要請先	活動対応者
12月15日	養豚議連役員意見交換会	坂本副会長、葉梨幹事長、井野事務局長、神田事務局次長	香川会長、石川会長代行、山本筆頭副会長、岡部副会長、山口副会長、石川理事、石渕理事、塩澤ﾌﾞﾊｲｻﾞｰ、川村青森県養豚協会副会長、鋤柄専務理事、海老原係長、遠藤主任 計12名
12月19日	畜産・酪農対策委員会及び農林合同会議 畜産価格申渡し	宮下一郎先生、築和生先生、野中厚先生 他	香川会長、鋤柄専務理事、遠藤主任 計3名
12月22日～23日	令和8年度畜産物価格、関連対策等の決定、令和7年度補正予算についてお礼挨拶及び養豚議連役員年末ご挨拶 農林水産省幹部年末ご挨拶	森山先生、野村先生 他 長井畜産局長、坂消費・安全局長	香川会長、石川会長代行、山本筆頭副会長、鋤柄専務理事、遠藤主任 計5名
2026年 2月19～20日	第51回衆議院議員総選挙当選祝いと意見交換	森山先生、坂本先生、葉梨先生、井野先生、神田先生他	香川会長、山本筆頭副会長、鋤柄専務理事、遠藤主任 計4名
3月5日	養豚議連総会 家畜伝染病予防の改正等養豚農業振興に係る提案（要請）	森山先生、葉梨先生、井野先生他26名	香川会長、石川代行、山本筆頭副会長他40名
3月19日	家畜伝染病予防の改正等養豚農業振興に係る提案（要請）	根本幸典農林水産副大臣	香川会長、山本筆頭副会長、鋤柄専務理事、愛知県生産者：鈴

			木辰也、瓜生陽一、高 橋洋長、鈴木美仁、遠 藤主任 計 8 名
--	--	--	---------------------------------------